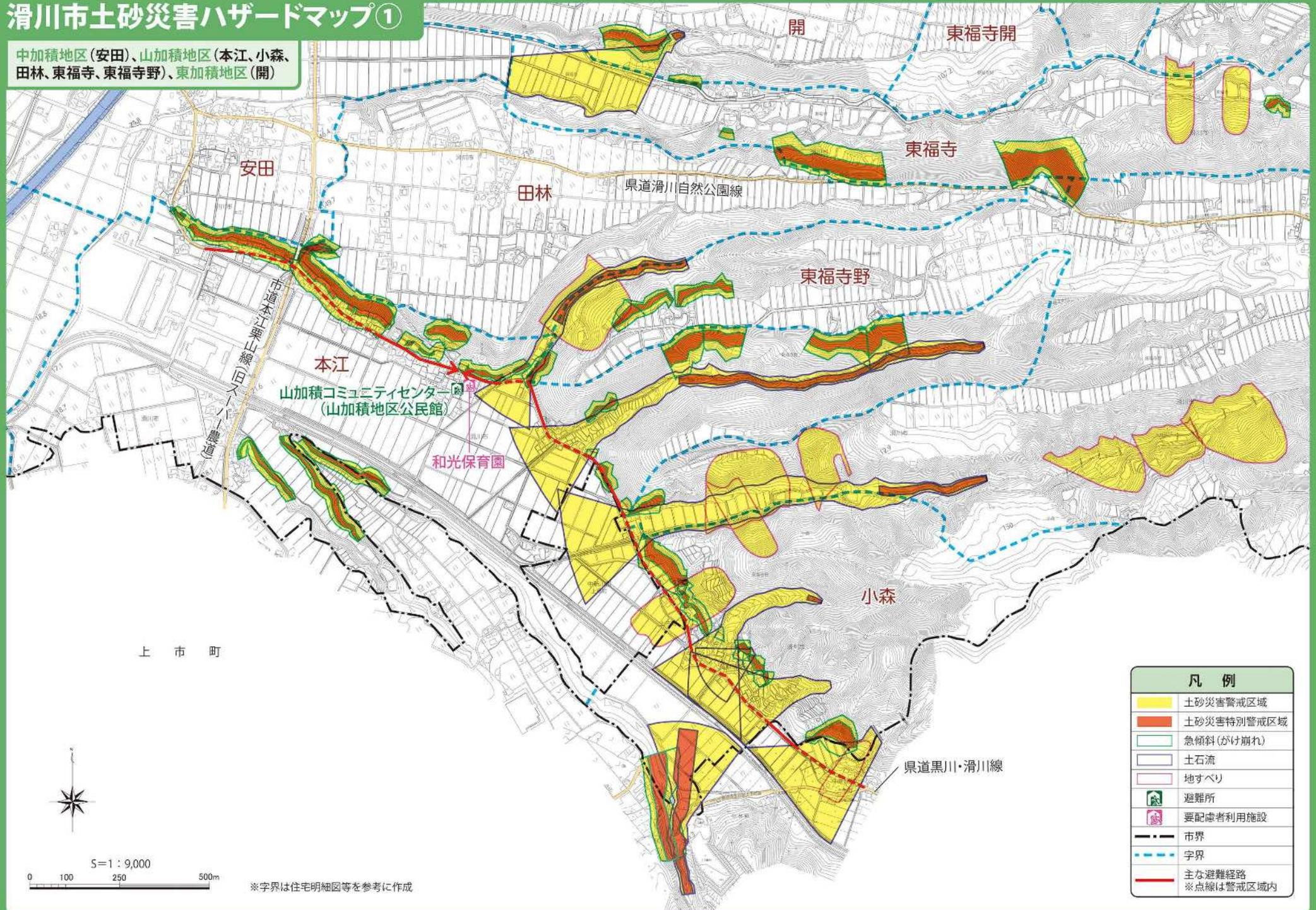


# 滑川市土砂災害ハザードマップ①

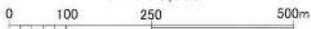
中加積地区(安田)、山加積地区(本江、小森、田林、東福寺、東福寺野)、東加積地区(開)



上市町



S=1:9,000



※字界は住宅明細図等を参考に作成

凡例	
	土砂災害警戒区域
	土砂災害特別警戒区域
	急傾斜(がけ崩れ)
	土石流
	地すべり
	避難所
	要配慮者利用施設
	市界
	字界
	主な避難経路 ※点線は警戒区域内

# 土砂災害警戒情報が発表されたときは!

## 土砂災害警戒情報・避難情報

### 土砂災害警戒情報とは...

富山地方気象台が大雨警報(土砂災害)を発表した後、命に危険を及ぼす土砂災害がいつ発生してもおかしくない状況となったときに、市町村長の避難指示の発令判断や住民の自主避難の判断を支援するよう、対象となる市町村を特定して警戒を呼びかける情報で、富山県と富山地方気象台が共同で発表しています。

富山県からの土砂災害警戒情報はここから※1  
富山県土砂災害警戒情報支援システム



気象庁などの情報はここから※2  
キキクル(危険度分布) 地域の危険度を確認 紫色の箇所は危険度が高いことを示しています



キキクル(危険度分布) 地域の危険度を確認 紫色の箇所は危険度が高いことを示しています

警戒レベル		避難情報	
とるべき行動		市町村が発表する情報	気象庁などの情報
5	<b>命の危険 直ちに安全確保</b> ・災害が発生または迫っており、命が危険な状態。安全な避難が困難な場合は、屋内での安全確保など、命を守るための最善の方法をとる。	<b>緊急安全確保</b> ※必ず発令されるものではない	<b>大雨特別警報</b> ※上記WEBサイトより確認いただけます
警戒レベル4までに全員避難完了			
4	<b>危険な場所から全員避難</b> ・土砂災害警戒区域等、災害が想定される区域から安全な場所へ避難する。	<b>避難指示</b>	<b>土砂災害警戒情報</b> (警戒レベル4相当) ※1上記WEBサイトより確認いただけます
3	<b>危険な場所から高齢者等避難</b> ・土砂災害警戒区域等、災害が想定される区域から高齢者は避難する。 ・高齢者以外の方も避難準備や自主避難をする。	<b>高齢者等避難</b>	<b>大雨警報 洪水警報</b> (警戒レベル3相当)
2	<b>自らの避難行動を確認</b> ・ハザードマップ等で避難先、避難経路等を確認する。 ・今後の情報や周囲の状況、雨の降り方に留意する。		<b>大雨注意報 洪水注意報</b> (警戒レベル2相当)
1	<b>災害への心構えを高める</b> ・今後の情報や周囲の状況、雨の降り方に留意する。		<b>早期注意情報</b> (警戒級の可能性) (警戒レベル1)

# 滑川市土砂災害ハザードマップ

## 土砂災害とは

土砂災害は、大雨や地震などが引き金となって、急傾斜地の崩壊(がけ崩れ)、土石流、地すべりなどが発生し、私たちの生命・身体・財産に被害が生じることです。

## 土砂災害警戒区域と土砂災害特別警戒区域

### 土砂災害警戒区域

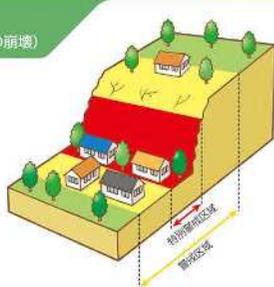
土砂災害のおそれがある区域のこと。

### 土砂災害特別警戒区域

建築物が破壊され、住民に大きな被害が生じるおそれがある区域のこと。この区域では、一定の開発行為の制限や居住を有する建築物の構造が規制されます。

## がけ崩れ (急傾斜地の崩壊)

大雨や地震などの影響によって、弱くなったがけや斜面が突然くずれ落ちる現象のこと。短時間に起こるため、逃げ遅れると大変危険です。



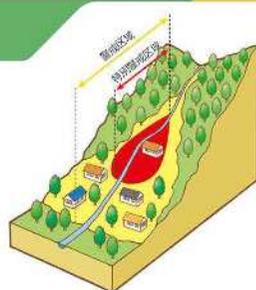
### 前兆現象

- がけから小石がパラパラと落ちてくる。
- がけから水が湧きだす。
- がけや斜面に割れ目ができる。



## 土石流

山や川の石や土砂が、大雨などによって、一気に激しく流れ下る現象のこと。破壊力が大きく、速度が速いため大きな被害をもたらします。



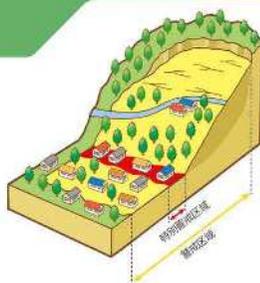
### 前兆現象

- 山時りや立ち木の裂ける音が聞こえる。
- 川の水が急ににごったり、流木が混じる。
- 雨が降っているのに川の水位が下がる。



## 地すべり

雨が地下にしみこみ、斜面がゆっくりと動きだす現象のこと。一度に広い範囲が動くため、住宅や道路、耕地等に大きな被害をもたらします。



### 前兆現象

- 地面にひび割れができる。
- 井戸水や沢水がにごりはじめる。
- 斜面から水が湧きだす。



## 情報の伝達ルート



## 避難時の行動

- 土石流はスピードが速いため、流れを背にして逃げていては追いつかれてしまいます。土砂の流れの方向に対して、直角に逃げるようにしましょう。
- 避難時には、河川沿いやがけ沿いの道路は避けましょう。
- 避難する時は動きやすい服装で、2人以上での行動を心がけましょう。
- 要介護者やお年寄り、子どもは避難時間を要するため、早めの避難が必要です。地域の皆さんで協力し合い安全に避難しましょう。

